

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	学習しやすい環境整備の充実(公民館)			総合計画コード	322
部名	生涯学習部	主管課名	中央公民館	主管課部課コード	120300
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす 目的成果	「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」が学べる施設運営が図られ、市民ニーズに応じた学習、文化活動が充実することにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。				
施策概要	社会教育団体の活動に適切な支援を行うとともに、公民館運営に利用者の声を反映しサービスを充実する。 また、計画的に施設修繕を実施し、誰でもが快適に利用できる施設管理を行う。				
個別計画 関連計画	計画名称	第2次生涯学習計画	計画期間	H 19 年度	～ H 28 年度
		第2次生涯学習計画後期基本計画		H 24 年度	～ H 28 年度
				H 年度	～ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	・全公民館の利用者数は、290,000人となり多くの社会教育団体等が利用し様々な学習活動等が行われた。 ・公民館まつりでは、全館で延べで約17,000人の来場があり、日頃の活動の成果発表の場としてや団体間や地域の方々との交流の場として充実した開催となった。 ・各種講座に関しては、全館で101回の様々な講座等を開催し、市民の学びの環境づくりと生涯学習活動へのきっかけづくりに取り組んだ。 ・施設管理の面では、安全安心な施設を目指し点検で指摘された箇所の修繕や老朽化に伴う設備の不具合に早期に対応した。					
H28年度の 基本概念(コンセ プト)の実施内容	安全・安心な まち	安全安心な施設利用のため、保守点検や修繕を実施した。				
	子育てが しやすいまち	親子で参加する講座や子どもを対象とした事業を実施した。				
	つながりのある 元気なまち	各種サークル等が活発に活動できるよう公民館の運営を行った。				
	自然・環境に 恵まれたまち	省エネルギーを意識した施設管理を行った。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		248,041	—	—	—	—

指標名 (説明)		単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
			目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
			実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
①	公民館6館の年間利用率 (貸館)	%	68.7	68.8	68.9	69.0	69.0
	(説明) 利用回数÷(開館日数×部屋数 ×3(時間区分)) ※6館の利用率の平均値		68.7	—	—	—	—
②	利用人数	人	310,000	311,500	312,000	312,500	313,000
	(説明) 公民館6館の年間延べ利用人数		290,000	—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	☐ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ☐ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) ☐ B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ☐ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) ☒ C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) 年間利用率は、ここ数年上昇しているが、利用人数は、利用団体のイベントの状況により増減がみられる。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	☐ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ☐ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある ☐ B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ☐ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある ☒ C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) 公民館は、地域の生涯学習の拠点として、子どもから高齢者までが学ぶことができる環境や地域コミュニティの活性化などが求められている。今後も社会的背景の変化に伴い学習形態の変化などが考えられるが、さらなる生涯学習活動の推進が必要となる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 少子高齢化などから社会教育団体等の活動形態や状況の変化が考えられるので、利用者の意見などを聞いて、活動状況やニーズを分析し把握することが課題である。また、施設の老朽化が進んでいるため、適切な修繕等を計画的に進めていく必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 ☐ 重点化 ☐ 内容の見直し						
	(説明) 公民館は、現代的・社会的課題に対応した事業を実施し、子どもから高齢者までが学ぶことができる環境や地域コミュニティの活性化など果たす方向性が必要である。						
行政と市民の役割分担	☐ I 行政の関与(役割)を拡大 ☒ II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ☐ III 市民の関与(役割)を拡大						
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名		総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
			H27決算	H28決算見込			
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
計 (単位:千円)				—	—	—	
☒ 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載							
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【公民館運営審議会】 活動団体の会員増になるような支援について検討していただきたい。						
部長の意見	市民の様々な学びの場や生涯学習活動の拠点としての重要な役割を担っていると考える。今後社会的背景の変化が考えられるが、市民のニーズや活動団体の状況などを注視しながら、地域コミュニティの活性化や学びの輪が広がる施策を展開すること。						

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方角性

施策名	学習しやすい環境整備の充実(公民館)			総合計画コード	322
部名	生涯学習部	主管課名	中央公民館	主管課部課コード	120300
関連部課名	—				

	事務事業名	総コスト(事業費＋人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方角性
		H27決算	H28決算見込			
	1 中央公民館運営事業	25,794	29,583	3	3	現状のまま
	2 東朝霞公民館運営事業	16,766	16,880	3	3	現状のまま
	3 西朝霞公民館運営事業	17,934	18,072	3	3	現状のまま
	4 南朝霞公民館運営事業	17,194	17,272	3	3	現状のまま
	5 北朝霞公民館運営事業	17,245	17,387	3	3	現状のまま
	6 内間木公民館運営事業	14,785	12,667	3	3	現状のまま
	7 中央公民館管理事業	43,688	45,333	3	3	現状のまま
	8 東朝霞公民館管理事業	13,855	14,348	3	3	現状のまま
	9 西朝霞公民館管理事業	12,534	12,742	3	3	現状のまま
	10 南朝霞公民館管理事業	12,470	12,935	3	3	現状のまま
	11 北朝霞公民館管理事業	12,229	17,178	3	3	現状のまま
	12 内間木公民館管理事業	13,912	20,059	3	3	現状のまま
	13 公民館施設改修事業	—	13,585	—	—	H28で休止・廃止・終了
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計 (単位:千円)	218,406	248,041	—	—	—

施策を
構成する
事務事業の
次年度の
方角性